

「日本商工会議所青年部の 国内外における活動について」

3つの環境危機（気候変動・生物多様性喪失・汚染）
に対処するシナジーアプローチの促進
～ポストSDGsも見据えて～



ASAKO KIMURA



香川県高松市出身

PR Co.,Ltd .CEO（創設20年）

令和5年度 日本商工会議所青年部会長

伝統文化後継者育成支援協会代表理事

大阪・関西万博具現化検討会有識者

外務省.SDGs推進円卓会議 民間構成員

2030オリンピック・パラリンピック

プロモーション委員会委員

日本の99%は中小企業

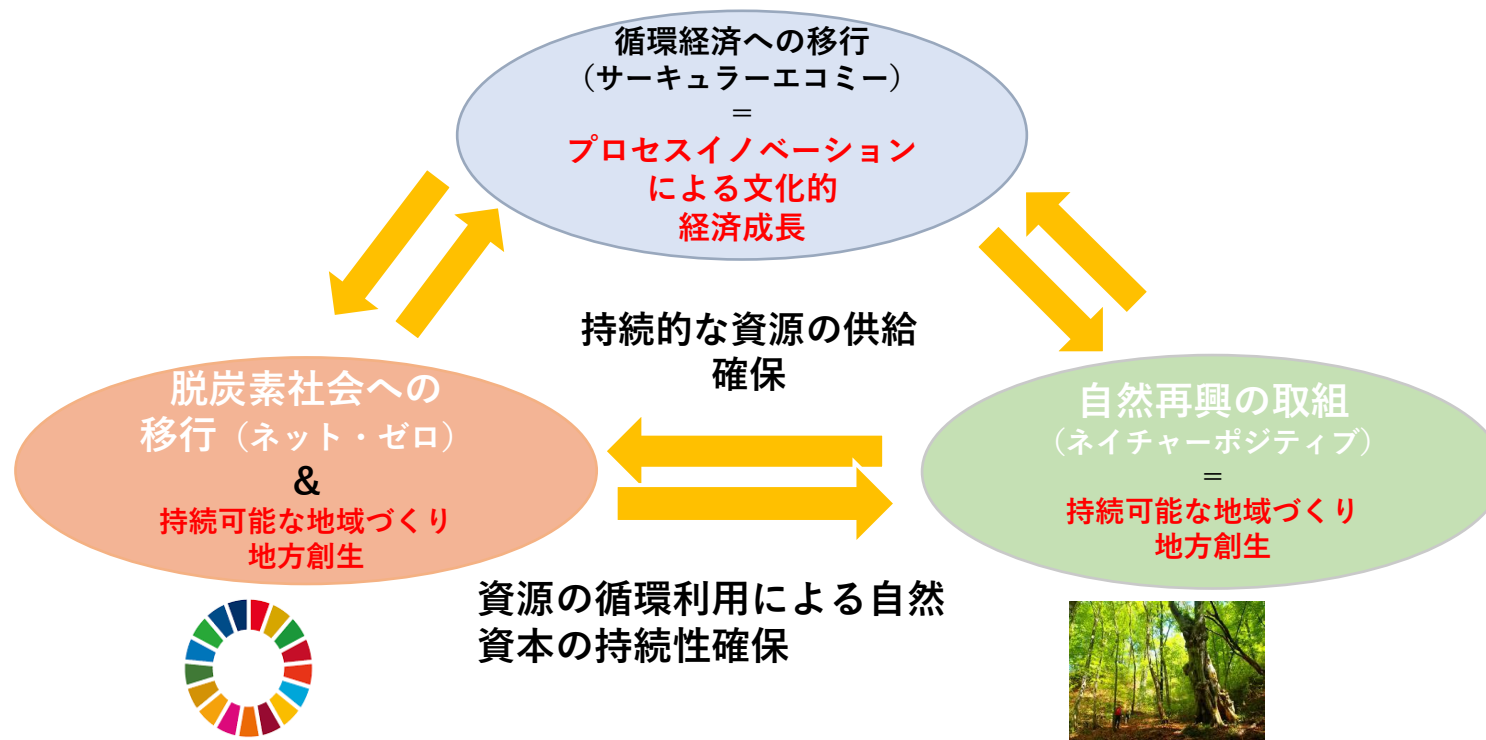
(引用元:独立行政法人 中小企業基盤整備機構 広報・情報戦略統括室 総合情報戦略課/中小企業の SDGs 推進に関する実態調査(2024 年)アンケート報告書)

SDGs認知度90.5%

SDGsに積極的な企業は34.6%

3つの環境危機
(気候変動・生物多様性喪失・汚染) に対処するシナジーアプローチの促進
～ポストSDGsも見据えて～

シナジー戦略に99%の 中小企業をどう巻き込んでいくのか？



SDGsにおける中小企業の関心

(引用元: 独立行政法人 中小企業基盤整備機構 広報・情報戦略統括室 総合情報戦略課/中小企業の SDGs 推進に関する実態調査(2024 年)アンケート報告書)

時間・人員・資金共に余裕がない中小企業にとって
『自社利益に直結しそうなテーマ』に関心が高い

「働きがいも経済成長も」
「エネルギーをみんなにそしてクリーンに」

「貧困・人権問題・飢餓・ジェンダー公平」など
自社利益に直結しない、と感じるテーマへの関心が薄い傾向がある。

Point①

経済的・文化的『成長戦略』としてのSDGs
『選ばれる組織や地域』への変革

人権や貧困に意識啓発を行いながら
SDGsの取り組みが

経済・文化的『成長戦略』であり
女性・若もの・外国人に選ばれる組織変革への施策

として強く打ち出すことが有効

Point②

2025年ー2035年 ビジョン 年代毎の『主な役割と重点項目』を設定

■10ー20代 ※SDGネイティブ 新卒・入社・若手 (10年後→20-30代)

(役割: ユースの視点や構想をまちづくりや制度づくりに・必要な取組: 戦略会議への参画・リーダー育成)

※10年後: 現役リーダー世代へ

■30代ー50代 ※管理職など「現役リーダー世代」(10年後→40- 60代)

(役割: 社会変革・必要な取組:

誤認解消・選ばれる組織文化醸成・成長戦略としての基礎知識・社会全体の役割とビジョンの明確化)

■60代-70代 ※引退・会長職など現役から一步退く世代 (10年度→70代-80代)

(役割: 社会変革への後押し必要な取組: ジェネレーションギャップ理解

ガラスの天井・アンコンシャスバイヤス理解など現在弊害となっている心理的・構造課題の理解)



社会変革のキーパーソンは
社会と組織変革を担う『現役リーダー世代』
30代-50代

SDGs達成のキーパーソンは 99%の『中小企業』

**特に『30-50代の現役リーダー世代』の
『意識変革と協働』に重点を置くことが
日本のSDGs達成の鍵**

※日本の99%を占める中小企業の変革なしにSDGs目標達成はなく
大企業の活動推進とともに今後さらに中小企業の変革に重点を置くことが重要

日本商工会議所青年部(YEG) の役割と取り組み

※経団連・経済同友会とともに
商工会議所は『3大政策提言団体』の一つ



—/ 日本商工会議所青年部(YEG)とは

商工会議所青年部のもつコンセプト(若さ・情熱・広い視野)をもった経営者集団であり、「YEG」(若き企業家集団)とは商工会議所青年部の英語名(Young Entrepreneurs Group)の頭文字をとったものです。



商工会議所の父『渋沢栄一翁』

2024年7月3日に発行される新一万円札の肖像となる渋沢栄一翁は「民の繁栄が、国の繁栄につながる」という想いのもと1878年に東京商工会議所を創立し、初代会頭を務めました。「道德経済合一説」をはじめとする渋沢栄一の教えは現代に脈々と受け継がれており私たちYEGのアイデンティティとして活動に刻まれています。



日本商工会議所
会頭 小林健

— 商工会議所の特徴 —

地域経済社会の牽引・活力ある地域づくり・中小企業のバックアップ

公共性

地域性

総合性

国際性



全国9ブロック
416単会・32,400名

※20代-50歳前後

日本最大級の
『青年経済団体』





【直面する社会問題】

地方の人口流出・少子高齢化
『組織と地域の担い手不足』

気候変動の影響の可能性・毎年発生する激甚災害
『災害大国日本』 人と自然の共生社会実現

『経済停滞』 『中小企業の国際競争力低下』 など

人と自然の共生社会実現・持続可能な地域と企業

～Circular economy～

若もの・女性・外国人に選ばれる
組織への変革が急務



YEGでも毎年リーダー育成等の研修や
新たな取り組みなどを行うものの・



日本商工会議所青年部（YEG）

【課題】

年度制の弊害

会長が変わるたび価値基準が変わる
年度を超えての『文化醸成』ができない

日本商工会議所青年部

サステナブル宣言



令和 4年 2月26日 策定
令和 6年 3月16日 更新

<サステナブル宣言>

日本YEGは、持続可能な社会の実現に向けた取組みを推進し、常に新しい社会を見据えた未来をかたちづくる活動を実践する。また、全国のYEGメンバーが自社で実践できる情報を提供し、YEGメンバーの持続的な成長に貢献します。

【具体的な取組み】

1. 日本YEG自らの取組み

日本YEGは、率先垂範して、自らの事業活動において持続可能な社会の実現に向けた取組みを推進し、常に新しい社会を見据え、未来をかたちづくる活動を実践していくことによって、全国のYEGメンバーに持続可能な社会の実現に向けた気づきの提供を行います。

また、下記に示す取組み内容は、これまで日本YEGが行ってきたものを「サステナブル」という視点で改めて整理し、これまでの「活動の成果」として示したのもでもあります。

(1) ハイブリッド方式での事業活動の実践

オンライン方式での会議・事業は、移動に伴うCO₂の排出量の削減効果が期待できるという考えがある一方で、リアルによる人と人、人と社会の繋がりを大切にすることで、持続可能な社会の実現にも寄与できるという考えもあります。そのため、それぞれの立場、事情、状況などに応じて自由に選択できる環境を作ることが真のハイブリッドであり、これからは日本YEGはハイブリッド方式での事業活動を実践していきます。

(2) 多様な人材の共創による豊かな社会の実現 ～男女共同参画推進～

多様なあらゆる人々がその個性を発揮して活躍できる社会をつくるため、YEGとして男女共同参画推進に果敢に取り組む必要があります。このテーマの入り口は、個人、団体として「意識」しているかどうかにあります。日本YEGは、「持続可能な循環型社会」および「男女共同参画推進」への必要な取組みに対して現在どの位達成できているかを把握し、今後チャレンジすべき目標設定に使用してもらうための「持続可能な循環型社会への評価システム」を作成しました。また、先進的な取組みを行っているYEG単会や他団体の事例、有識者の意見も重要です。セミナーなどの機会を積極的に推進しながらYEGメンバーの意識の変革を促し、選ばれる組織になるよう下支えを行っていきます。

(3) 持続可能で心豊かな人と自然の共生社会実現へ

サステナブル宣言に則り、持続可能なYEG活動や経営環境を構築するためには、これまでの【過度な消費経済により自然環境のバランスが崩れている消費型社会】を【持続可能な循環型社会】へと変えていく必要があります。日本YEGではカーボンニュートラルの実現やプラスチック汚染対策などの地球環境課題に積極的に取り組むために「脱炭素取組みマニュアル&事例集」を作成しました。このマニュアルを参考に青年経済人として自分たちがすぐに出来ることから始め、YEGの価値向上に努めていきます。

(4) パートナースhip構築宣言の推進

未来を拓くパートナーシップ構築推進会議においてパートナーシップ構築宣言の仕組みが創設されました。これは中小企業の適正な取引環境を実現することにより大手企業と中小企業が共存共栄を目指して、日本全体の持続可能な経済成長を図るものです。

そのため、日本YEGは、これまで政策提言の一つとしてパートナーシップ構築宣言の一層の推進のための提言を行いました。これからは日本YEGは持続可能な経済成長のためにパートナーシップ構築宣言をより一層推進していきます。



令和5年度
3大重点項目

1

日本YEGのサステナブル活動

—/ 令和3年度 サステナブル宣言2021の策定

令和3年度日本YEGでは、自持続可能な社会の実現に向け「サステナブル宣言2021」を策定しました。

- ・ハイブリッド型の事業活動の実践
- ・ジェンダー平等の実践
- ・循環型社会に向けた実践
- ・パートナーシップ構築宣言の推進 など

この宣言では、ハイブリッド型の事業活動の実践やジェンダー平等の実践、循環型社会に向けた実践パートナーシップ構築宣言の推進など気づきと実践のヒントを提供することが大きな目的であり、令和3年度に開催された全国大会「SETOの都・香川高松大会」の記念式典の場で発表しました。



▲デジタル庁創設記念 / 中小企業の未来を切り拓く特別対談

—/ 令和4年度 ハイブリッド型の事業活動の実践 ジェンダー平等・女性のエンパワーメント推進

HAPPYWOMAN FESTA 2023に後援



—/ 令和5年度 41年の歴史上初の女性会長誕生

令和5年度は、初の女性会長に就任した木村麻子会長のもとサステナブル宣言2021以降、この2年間行ってきた活動をより進化させるべく日本の持続可能性を高め、豊かな地域社会を構築するために重要な3つの重点項目を掲げ、活動を推進しました。



Challenge
Everything



SUSTAINABLE
DEVELOPMENT
GOALS

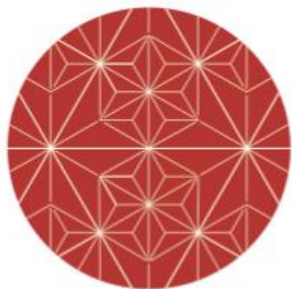
～ 持続可能な未来 ～
令和5年度 3つの重点項目

- ① 持続可能で豊かな人と自然の共生社会実現への貢献
- ② 誰一人取り残されないデジタル社会実現への貢献
- ③ 共に支え合い笑顔が溢れる日本の未来社会の共創
男女共同参画推進への貢献



令和5年3月開催の日本農工会議所青年部第43回全国大会 加賀能登の国・石川小松大会の記念式典において時代の要請に合わせ内容をブラッシュアップ。

日本商工会議所青年部（YEG）の取り組み事例



**Challenge
Everything**

～ 持続可能で心豊かな未来への貢献 ～

時代が求める未来 『持続可能な地域』と 『選ばれる組織』への変革

—/ 令和5年度 3大重点項目

日本の成長戦略である3つのテーマに重点をおき単会活動の成長と挑戦への後押しをしてまいります。



1

持続可能で心豊かな
人と自然の共生社会実現
への貢献



2

誰一人取り残されない
デジタル社会実現
への貢献



3

共に支え合い笑顔が溢れる
日本の未来社会の共創
男女共同参画推進
への貢献



令和5年度
3大重点項目

1

SDGs・人と自然の共生社会実現への貢献

CO₂削減への取組「Challenge2030」



「持続可能な循環型社会」への移行に必要な意識の変革を後押しする取組として「Challenge2030」を実施。
SDGs達成目標年である2030年と令和5年のYEGスローガン「Challenge Everything」に由来して
チャレンジ2023と銘打ち脱炭素やCO₂削減につながる取り組みを習慣化できるように推進。
年度内にCO₂を2,030kg削減することを目指し
SDGsの取り組みを日本YEGが率先して行い全国の単会の模範となっており取り組みが地域に浸透することで
「持続可能な循環型社会」への変革への後押しとなることを目的とし
諸会議や交流会、事業など公式事業の持続可能な変革活動を実践しました。



令和3年度に続き環境省との
情報連携等を行い活動を推進

▲ 環境大臣
伊藤信太郎様(中央)

1

持続可能な循環型社会へ Challenge2030

- 1 啓蒙パネルの設置(推定CO₂削減量の可視化)
- 2 環境省の推奨する「3010運動」のYEG版
「1510運動」の実施
- 3 99%リサイクルゴミ袋使用

年間約4トンのCO₂削減に成功!

地域経済社会の牽引・活力ある地域づくり
中小企業のバックアップ

懇親会などで最初15分と最後の10分を着座にて食事
をとるという形式にししっかりと食事の時間をとる事
でフードロス削減に努める活動。



成果の可視化ができる評価システムを構築し
全国417単会が活用できる仕組みを構築

< CO₂削減を目的とした取組 >

15-10 運動の推奨(フードロスの削減)

令和5年度日本商工会議所青年部
(YEG)は環境負荷軽減を実践!!

CO₂削減量4294.8kg を達成しました!!

- ・第3回役員予定者会議(奈良) 196.6 kg
- ・第5回役員予定者会議(奈良) 219.9 kg
- ・第315 回役員会(高松) 417.8 kg
- ・全国会長会議(東京) 709.2kg
- ・第316 回役員会(中津) 489.1 kg
- ・第317 回役員会(高知) 287.4 kg
- ・第318 回役員会(小松) 384.9 kg
- ・第319 回役員会(札幌) 319.6 kg
- ・第320 回役員会(広島) 336.3 kg
- ・第321 回役員会(高知) 310.7 kg
- ・第322 回役員会(浜松) 256.3 kg
- ・第323 回役員会(柏) 367.0 kg

2

評価システムの構築 マニュアルの配布

成果の可視化ができる評価システムを構築し
全国417単会が活用できる仕組みを構築。
CO₂算定や活用マニュアルの無料配信中!
ご活用ください。



3

マイボトル推奨・給水スポットの常設化により 年間7000本のペットボトル削減!

CO₂削減・スマートプラスチックの取り組みとして会議や各種事業ではタンブラーを持参することを推奨すると同時に、毎回会場に給水スポットを設ける事で継続した取り組みが可能になり年間約7000本のペットボトルを削減しました。



タンブラー持参を推奨



給水スポット



4

全国のYEGの SDGsの取り組みをPR



日本YEG公式HP翔生に特設ページを作成し日本YEGや全国の単会の取り組みを紹介、国連のSDGsアンバサダーの「よしもと興業」と連携してYEGメンバー企業のSDGsな活動事例をBSよしもとの特別番組を介して紹介して頂くなどブランディング・PR支援を行う。

5

自主的なゴミ拾い活動

訪問する全国各地において有志メンバーによる清掃活動を行う事でゴミ問題、環境問題、社会問題を身近に感じる為の啓発活動も積極的に行っていました。



清掃活動



6

共生社会実現への 研修・AWARD表彰

研修委員会のBPC(ビジネスプランコンテスト)や、広報ブランディング委員会のYEG大賞に持続可能性や人と自然の共生社会実現につながる取り組みを評価する項目や、特別賞を設けるなど全国メンバーの共生社会実現の後押しを行いました。



グランプリ・準グランプリ・優秀賞に加え、日本YEGが今年度の重点テーマとして掲げた3つの項目(①SDGs・人と自然の持続可能な共生社会推進 ②DX推進 ③男女共同参画推進)のいずれかを取り入れた、未来社会に貢献する事業を特別賞(Challenge Everything賞)を授与。

更なる推進のエンジンとして 【経済波及効果に換算を検討中】

日本 YEG 役員会・諸会議

平均参加人数
300人



平均登録費・飲食費
4万円/人



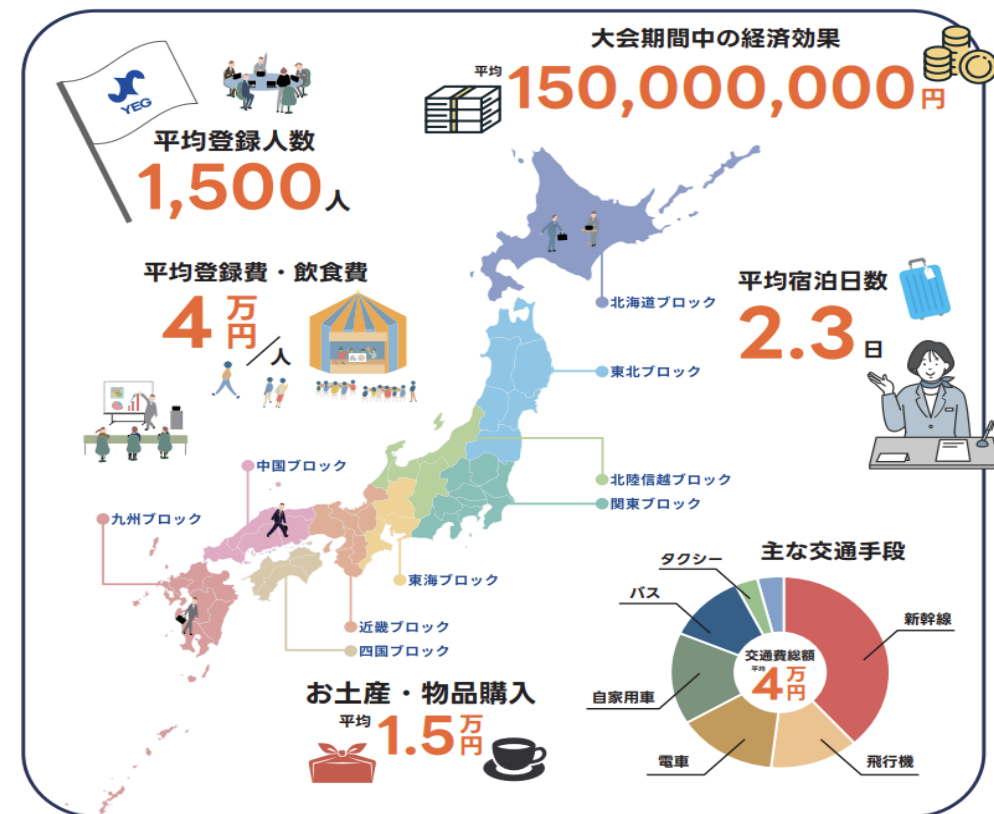
1日の経済効果
1,200万円



開催地との想あわせ **プライスレス**



各ブロック大会の経済波及効果



- ① 会議のペーパーレス化
- ② 事業のオンラインチェックイン化
- ③ 会議のハイブリット開催
- ④ web3の研修会
- ⑤ メタバース事業の開催など
アバターで全国のメンバーと
ビジネスマッチング・交流etc.



デジタル庁



▲ デジタル大臣 河野太郎様

日本YEG三大事業

令和5年度のすべての委員会と、日本YEG 3大事業、ブロック大会、全国会長研修・全国大会との連携にてリアルとデジタルの活用における新時代のビジネスを創「研修・交流・ビジネス商談会」を開催。
デジタル社会実現へのチャレンジとなる研修や事業を行いました。



- ・ 第36回 北海道ブロック大会 小樽大会
- ・ 第42回 東北ブロック大会 青森むつ下北大大会
- ・ 第43回 北陸信越ブロック大会 射水大会
- ・ 第43回 関東ブロック大会 静岡みしま大会
- ・ 第36回 東海ブロック大会 豊橋大会
- ・ 第41回 近畿ブロック大会 泉州いずみ大会
- ・ 第41回 中国ブロック大会 やない大会
- ・ 第40回 四国ブロック大会 阿南大会
- ・ 第43回 九州ブロック大会 玉名大会
- ・ 第41回 全国会長研修会 山海の楽園こうち会議
- ・ 第43回 全国大会 加賀能登の國いしかわ小松大会

ビジ活クエストweb3
集いし全国の仲間たち
全国9ブロックにて開催



全国会長研修会において
DX推進セミナー開催



令和6年度 加賀能登の國いしかわ小松大会開催



BEYOND THE STORY
現代への挑戦
誰が夢を叶えるか



YEG BUSINESS EXPO 2023
~GROWTH POWER of YEG~

ビジネスに特化した「研修・交流・ビジネス商談会」を開催。

リアルとデジタルの活用における新時代のビジネスを創出。

令和5年度の全ての委員会が連携し、本年度の重点項目の関連事業を行いました。



Challenge Everything ~ 持続可能な社会を共に築くための挑戦 ~



新時代のビジネスチャンスを見逃さない！
 全国 YEG メンバーとビジネスマッチングを実現

YEG BUSINESS EXPO 2023

GROWTH POWER of YEG

12/3 会場
MY DRIVE GARA



大阪商工会議所・マイドームおおさか

大阪市中南区本町2-4・大阪市中央区南堀2-5

メタバース会場
GAIA TOWN



2024.
2/3 Sat
 10:00～17:30
 (受付 9:00～12:00)

「会場」
大阪商工会議所・マイドームおおさか

大阪イン
プラットフォーム
EventBASE

現地に来なくてもオンライン参加・
 メンバー交流できる！

メタバース GAIA TOWN 会場 2/3～2/24
オンラインプラットフォーム EventBASE
 12/1～3/31：参加登録 12/1～、出展者・セミナー情報など公開 12/15～

※EventBASEでは、スタートアップ等のオンライン販路、出展者募集等機能、出展者への個別招待など、プラットフォームメンバー限定で実施。

[illegible]

＜担当委员会＞

- 1.総務委員会 2.広報ブランディング委員会
3.企画委員会 4.研修委員会 5.ビジネス活性化委員会
6.国際ビジネス委員会 7.組織活性化委員会 8.政策提言委員会
9.SDGs・男女共同参画推進委員会



▲全国のYEGメンバーによるブース出展
(メタバース36社)

—/ 日本YEGの組織変革

令和5年度は新たにSDGs・男女共同参画推進委員会を設置。
超高齢化社会を迎えた日本において重要な成長戦略の一つ
である女性活躍社会を推進し
持続可能な単会活動や企業経営への変革を促進するための
研修や事業など様々な活動をおこないました。



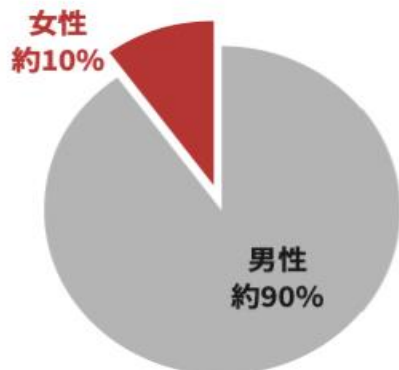
▲ 加藤 紘子 内閣府特命担当大臣・女性活躍担当大臣
(こども政策 少子化対策 若者活躍 男女共同参画)



▲ 新設 委員会
SDGs・男女共同参画推進 委員会

—/ データで見る日本YEG

～組織も昭和モデルから令和モデルへ～



全国に417青年部
約32,400名
うち 女性約3,000名

—/ 選ばれる組織になるために ～男女共同参画組織への変革の一步～

意識的に女性の参画を促し、活躍と成長の場を創出。

男女が共に学び、共に考え、共に活動することで互いを尊重し、多様性を包摂する新しい文化へ。

女性リーダー育成へのサポート強化など。

- ① 女性執行部 過去最多数6名
- ② 女性委員長比率30%を実現
- ③ 9委員会全てに女性配属
- ④ リアルとオンラインのハイブリット
運営を基本とし男女ともに
活動しやすい環境構築を推進
- ⑤ 3つの重点項目の一つとし
意識変革を推進



—/ 昭和モデルから令和モデルへ

男女共同参画推進に関しては、
持続可能な経営の取り組みの一助になるような
研修事業やオンラインによる各種セミナー、
男女別のオンライン茶話会などを通じて多様な人材から選ばれる企業や
単会の在り方を学ぶ機会を作りました。



—/ 全国のメンバー対象「研修」を開催 一人ひとりの自覚と意識の変革と挑戦への後押し

< 主なテーマ >

- ① 超高齢化社会の日本にとっての女性活躍、
男女共同参画推進の必要性と可能性
- ② 若い世代・女性に選ばれる組織になるために
- ③ 推進を阻むガラスの天井を知る
～無意識の偏見・アンコンシャスバイアス～

男性199名・女性111名
女性が積極的に参加
参加比率35%超え
延べ 310名参加

オンラインセミナー & 交流会開催



— YEGの女性活躍・男女共同参画推進の取り組みを発信・PRをサポート 3月8日国際女性デー —

国連広報センター後援事業 HAPPY WOMAN® ×
日本商工会議所青年部(YEG)連携事業 YEGエンパワーメント

地方創生・健康・経済分野から見た
男女共同参画推進セミナー

■ 主催: HAPPY WOMAN実行委員会

■ 後援: 国連広報センター

国連開発計画(UNDP)駐日代表事務所／内閣府男女共同参画局／外務省／厚生労働省／日本商工会議所青年部／東京都／グローバル・コンパクト・ネットワーク・ジャパン

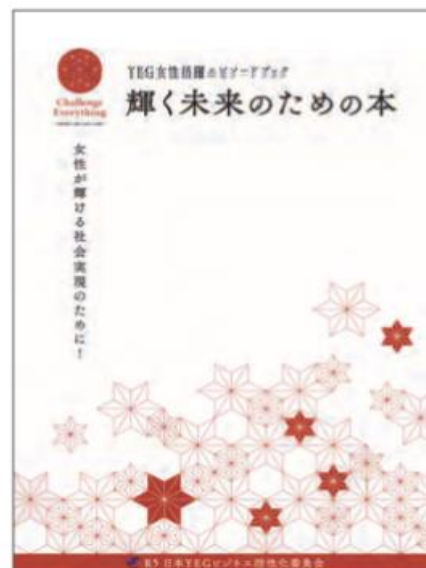
- ・国連開発計画(UNDP)駐日代表 ハジアリッチ 秀子氏
- ・外務省総合外交政策局女性参画推進室長 古本 建彦氏
- ・一般社団法人シンクパール代表理事 難波 美智代氏
- ・HAPPY WOMAN実行委員会 実行委員長 小川 孔一
- ・令和5年度日本商工会議所青年部 木村 麻子会長



— 全国の中小企業の声を集める～ YEG女性活躍エピソードブック作成 —

< 輝く未来のための本 >

- ① 全国の女性活躍の実態調査アンケート実施
- ② 中小企業の女性活躍に関する成功事例や課題



ビジネス活性化
委員会

— 省庁・行政との連携活動

POINT：組織構造の課題解決が必要

- ① 「女性活躍と経済成長」の好循環へ
- ② 「尊厳と誇りを守る」社会の構築
- ③ 「所得向上・経済自立」を促進

男女がともに活躍できる社会へ



内閣府
男女共同
参画局



内閣府男女共同参画局
岡田恵子 局長



内閣府男女共同参画推進局
のご協力のもと全国の中小
企業が男女共同参画に取り
組む意味や意義、メリットな
どを伝えて頂きました。

— 女性が働きやすい制度構築

- ① 育休制度に契約社員制度や時短勤務を追加
- ② 家事研修や休暇後の復帰を支える制度
- ③ 女性が考え、女性が運営、女性のスキルを伸ばす仕組み



YEGコミットメント

～YEG会員企業による自主的な働き方改革の推進～

子育てサポート企業・女性活躍推進する企業の認証であるえるぼし認証や
くろみん認証の条件項目のうち1つでも良いので目指すことを推奨。



経済産業省
Ministry of Economy, Trade and Industry

こどもまんなか
こども家庭庁



「こども若者★いけんぷらす」事業に参画



—/ 持続可能な社会を創るための政策提言

日本経済の要である中小企業の「意識変革と社会変革」を推し進め理想を実現するためには、迅速な制度の見直しが必要です。

日本商工会議所青年部は、全国の単会会長に対してアンケートを実施するなど地域の青年経済人の声を集め、関係各所との意見交換も行った上で、政策提言書の取りまとめを行っています。

令和5年度は日本YEGが掲げる3つの重点テーマを中心とし、持続可能な経済社会を構築するために不可欠な「人手不足」「国際ビジネス」「DX推進」「女性活躍」の4点について提言しました。



令和5年度
日本商工会議所青年部
政策提言書



令和6年3月

令和5年度の提言

- < 提言 ① > 人手不足解消・働き控えを少なくする社会保障制度の改革
- < 提言 ② > 中小企業の国際ビジネス促進政策
- < 提言 ③ > 地域の中小企業のDX推進支援としてのデジタル人材の育成
- < 提言 ④ > 中小企業における女性活躍のための政策
- < 提言 ⑤ > 令和6年能登半島地震からの復興と今後の災害対応



日本YEG Design 2023-2027 ～中期ビジョン実現のための13テーマ～

「日本YEG Design 2023-2027」13テーマとは

私たちが真に日本の未来を創る「変革の道導」となるには、未来的課題から逆算して描く解決策を行動で示す必要があります。例えば、社会課題として2040年には人口減少と少子高齢化が進み“深刻な労働力不足”が表面化します。これは中小企業が直面する課題でもあり地域の課題でもあります。この課題に対するYEGの取り組みを13のテーマで示します。13テーマをしっかりと認識し活動（解決策）をデザインすることで、地域の日本の未来を創造しましょう。

中期ビジョン実現のための13テーマ

- | | | | |
|----|--|----|---------------------------|
| 01 | | 生活 | 子ども達が帰ってきたい暮らしをデザインする |
| 02 | | 教育 | 3人の大人で1人の若者を育てる社会へ転換する |
| 03 | | 福祉 | 年を重ねるほどに幸せなまちづくりをする |
| 04 | | 自治 | 消失可能性地域を“心の豊かさを感じる場”へ見直す |
| 05 | | 社会 | 互いに支え合う互助型コミュニティを創出する |
| 06 | | 環境 | 美しい自然と風土を守り続ける取組みの継続的実施 |
| 07 | | 文化 | 伝統と文化をリデザインして100年先まで残す |
| 08 | | DX | 全世代で利用可能なデジタルインフラの普及に取り組む |
| 09 | | 国際 | 日本の地域の魅力を世界へと繋げる橋渡しをする |
| 10 | | 経営 | 中小企業の永続に向けたイノベーションを創発する |
| 11 | | 起業 | 持続的に地域発のベンチャーが生まれる仕組みを支える |
| 12 | | 経済 | 規模に応じた永続的経済循環の仕組みを構築する |
| 13 | | 雇用 | 地域と時代に応じた仕事を生み出し提供する |

—/ 九州北部7月豪雨災害の緊急支援

6月28日から7月6日にかけて九州地方では700ミリを超える豪雨災害となった。

被害状況 / 人的被害:死者 10 名 重軽傷者9名・住家被害: 762 件

(内訳:全壊 13件、半壊 6 件、一部損壊 34 件、床上浸水 284 件、床下浸水 426 件)



< 主な活動 >

● 7月10日

九州ブロック災害本部立ち上げ
日本YEG災害担当との情報連携

● 7月30日

九州ブロック災害対策本部より
被害状況報告と支援依頼日本YEG提出

● 7月31日 見舞金募集(～9月30日)

● 長期化することが予想される復興に際しブロック・県連・単会を中心に支援を行い
日本YEGと情報連携を行う



—/ 秋田県7月豪雨災害の緊急支援

被害状況 / 人的被害:死者0名 重軽傷者5名 住家被害:7,039 件

(内訳:全壊 11 件 半壊 2,892 件 一部損壊 28 件 床上浸水 741 件 床下浸水 3,367 件)

非住家被害:795 件 (内訳:全壊5件 浸水 790 件)



< 主な活動 >

● 7月16日 秋田県連・日本YEG災害担当との情報連携

● 7月24日 ～対応協議

● 7月28日

秋田県連災害対策本部より被害状況報告と支援依頼が日本YEGに提出

● 7月31日

物資受入(～8月31日) 見舞金募集(～11月30日)

● 長期化することが予想される復興に際しブロック・県連・単会を中心に支援を行い
日本YEGと情報連携を行う

全国青年友好4団体 2024 震災復興フォーラム 3/16 SUN 13:30 - 14:30

Power of Community

We will continue to support Japan.
The power of a community of young people with infinite potential.

未来を担う青年経済人のコミュニティの力で
被災地を支え 愛する日本を守り続ける

Panelists



日本商工会議所青年部 第43回全国大会
加賀能登の國 いしかわ小松大会

主催：日本商工会議所青年部 主賓：石川県商工会議所青年部連合会 副主賓：北陸経済ブロック商工会議所青年部連合会



全国青年友好4団体
震災復興フォーラム

Power of Community

The power of a community of future-oriented businesspeople
Supporting the disaster-stricken areas and protecting our beloved Japan

未来を担う青年経済人のコミュニティの力で
被災地を支え 愛する日本を守り続ける



「青年」の力 復興の一助に

県内初、YEG全国大会開幕



小松主会場に5日間 1万人参加

日本商工会議所青年部(YEG)の第43回全国大会「加賀能登の國 いしかわ小松大会」は13日、小松市を主会場に5日間の日程で開幕した。全国大会開催は県内で初めて、能登半島地震

の復興支援大会と位置付ける。市役所で会見した木村麻子日本YEG会長は「被災地の復興支援、発展の一助となる大会をつくりあげる」と力を込めた。

市役所で会見

大会テーマに「コミュニティの力」を掲げ、オンラインを含め全国417単会の約1万人が参加する。15日にサイエンスヒルズこまつで会員総会、16日にこまつドームで記念式典と災害フォーラムが行われ、両日は小松駅周辺で能登の特産品を並べる物産展を開催する。復興コンサートや、インターネット上の仮想空間「メタバース」を活用した講演も企画する。能登地区で計画されていた分科会は地震に伴い中止となった。

全国大会について会見に臨む(右から)小野氏、木村氏、塩土氏
小松市役所

県は13日、いしかわ動物園(能美市)で飼育されている11歳雌のトキが卵1個を産んだと発表した。9歳雄とのつがい、全国のトキ飼育繁殖施設での産卵確認は今年初めて。福留保育では、4月中旬にも産卵する。同園では15年連続の産卵となる。12日夜に産まれたとみられ、つがいが全で卵を温める様子が確認された。つがいはこのほか、雄

いしかわ動物園
トキ今年初産卵
国内でも初



に理解を深めた。北國銀行の西田隆洋資産継承コンサルタントマネジャーが講師



【令和5年度】

【令和6年度】

【令和7年度(予定)】

全国友好4団体
震災復興フォーラム開催



友好4団体による災害協定締結



友好4団体による
共同研究会（研究者との連携）
防災メタバース活用防災訓練実施など



行政・研究者・専門家とワンチームに
47都道府県の青年リーダーが
次世代と共に識者の知見を『社会実装』へ

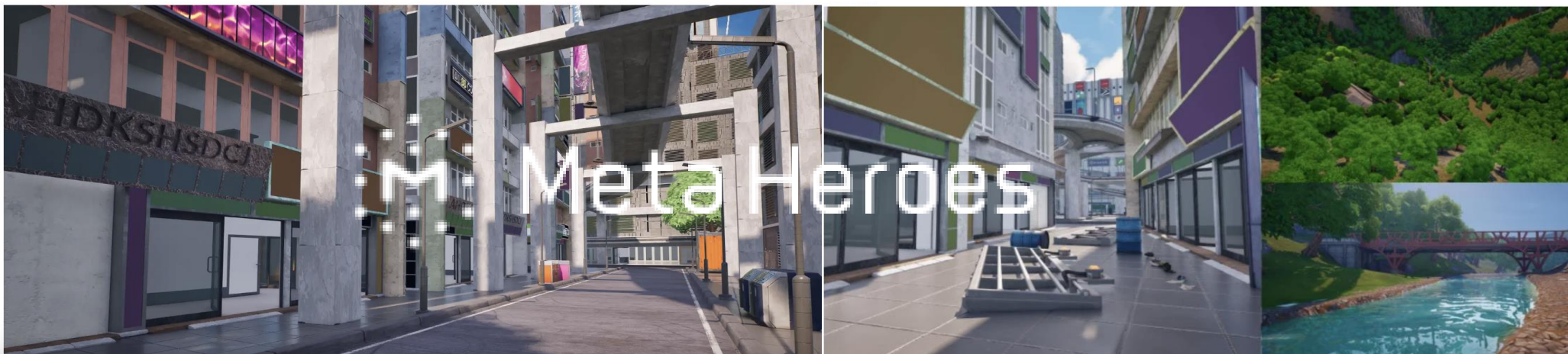
メタバース・XRを活用した防災対策シミュレーションの開発に着手 デジタルとリアルとの融合で社会課題解決に挑む

株式会社Meta Heroes 2024年8月30日 16時00分



Meta Heroes

メタバース・XRを活用した防災対策シミュレーションの開発に着手
デジタルとリアルとの融合で社会課題解決に挑む



防災シミュレーション 若年層に人気のプラットフォームでの展開

自治体との提携

当社は、地方自治体との提携を強化し、防災対策シミュレーションの開発を進めるとともに、防災教育の一環として様々なイベントやワークショップを開催する予定です。具体的には、各種自治体の震災避難所をリアルに再現し、住民が避難までの導線を正しい知識で学べるような取り組みを行います。これにより、地域社会全体の防災力向上に貢献してまいります。

専門家との提携

当社は、今後の予定として、防災に関わる専門家との提携を発表いたします。これらの専門家の正しい知識をメタバース空間上に反映していく予定です。専門家との連携を強化し、彼らの知見を広めるお手伝いを通じて、地域の防災力向上に寄与してまいります。



防災メタバース

メタバース/XRを活用した防災対策シミュレーションでデジタルとリアルを融合させた社会課題解決を目指す。

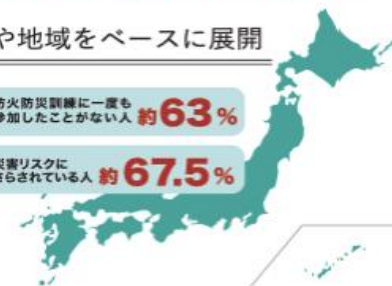
日本全国に存在する117,000カ所の避難所や地域をベースに展開

このプロジェクトは、UEFNやRobloxStudio、Minecraft等を駆使し、リアルなグラフィックとインタラクティブな要素を組み合わせております。プレイヤーがバーチャル上で災害を疑似体験することで、地域の防災意識を高め、防災知識を広めます。

日本では、国土の約30%が災害リスク地域に該当し、2015年時点で人口の67.5%が災害リスクにさらされており、2050年には70%になると予想されています。(国土交通省「自然災害リスクの増大について」より)しかし、現在の防災訓練の参加率は低く、約63%の人が訓練に参加したことがありません。(東京消防庁データによる)特に10代や30代の若年層の参加率が低いため、意識向上が急務です。

防火防災訓練に一度も参加したことがない人 **約63%**

災害リスクにさらされている人 **約67.5%**



若年層へのアプローチ

10~20代のプレイヤーが多く、ゲームを通じて防災意識を向上させる効果が期待できる。



継続的で低コストの訓練

PCがあれば場所を選ばず参加でき、リアル訓練に比べて低コストで継続的な防災学習が可能となる。



地域に即したカスタマイズ

地域特有の災害リスクやランドマークをゲーム内に再現し、実際の防災対策を学べる環境を提供できる。

若い世代に防災意識を高める

ゲームを通じて楽しみながら学べる環境を実現し、防災教育に新たな道を開いています。

レジリエンスの強化

ESG(環境・社会・ガバナンス)とウェルビーイング(幸福感・健康)に対応し、災害シナリオを通じてユーザーの対応能力とレジリエンスを強化します。

命を守る教育ツールとして

多くの子どもたちがアクセスしやすい、ゲームを通じて防災意識を高め、命を守る教育ツールとして活用します。

自治体と連携したイベントの実施

自治体と連携し、震災避難所の再現や防災シミュレーションを通じて、防災教育イベントを開催し、地域の防災力向上に貢献します。

災害時に役立つ知識とスキルを学ぶ

シミュレーションで、災害シナリオを通じ、適切な行動や災害時に役立つ知識とスキルを学ぶことができます。

専門家との連携

防災における専門家との連携し、正しい知識をメタバース空間上に反映し、知見を広め、地域の防災力向上に寄与します。

3つのプロダクトを中心に展開します。



防災メタバースの制作



防災備災イベント



防災備災勉強会



世界との持続可能な関係構築

国際活動

Challenge everything

ASEAN 3 カ国の今と未来への持続可能な関係構築を
海外視察事業を通じた現状の学びと挑戦の先駆け

日本商工会議所青年部は、世界各国と日本とのビジネスの架け橋となる
交流事業を継続してきました。

今年はASEAN・日本友好関係50周年という節目の年であり

タイ(YEC)・ベトナム(VYEA)・フィリピン(PYEA)の3カ国との

交流事業を行い、全国大会において持続可能な関係を構築するべくMOUを締結しました。





災害大国日本のレジリエンスな伝統智や地域智 優れた防災技術を世界への貢献と『日本の経済発展』へ



防災技術・AI・防災メタバース開発など
日本の智慧と技術を集結し、手を携えて持続可能な未来へ～

災害大国日本では優れた伝統智や地域智、そして民間企業によって防災・減災技術が開発されてきました。優れた防災・減災技術を世界の国々へ提供することは日本の民間企業だからこそできる世界への貢献です。



日本の防災・備災技術や叡智を 地域の持続可能な未来へ そして世界へ

～The best way to predict the future
is to create it～

3つの環境危機
(気候変動・生物多様性喪失・汚染) に対処するシナジーアプローチの促進
～ポストSDGsも見据えて～

99%を占める『中小企業』と
政府・大企業との『協働型』ビジョンと戦略策定 など
年度で途切れない仕組みと文化の醸成

シナジー戦略

